

山形県長井市

中心市街地活性化基本計画概要(案)

【3期計画: 令和8年4月～令和13年3月】

【自治体の概要】 人口: 24,364人(R7.1・住民基本台帳)、面積: 214.67km²

- ・江戸 ～ 最上川の舟運が開かれると物資運搬の集積地となり商業都市として発展
- ・大正 ～ 国鉄長井線が開通し、最上川沿いから鉄道の間に市街地が形成
- ・昭和 ～ 大手企業の立地により高度経済成長期には企業城下町として発展

【目指す中心市街地の都市像】 「未来」を「つくる」

【中心市街地活性化の方針】

【市民や観光客が集まる魅力あるまちづくり】

個やエリアでの魅力をそれぞれ向上させ、人が集まり、楽しみ、居心地が良いと感じ、滞在したいと思えるような空間の形成など、市民や観光客が訪れたい魅力ある街を構築し、コンパクトシティの実現を目指していく。

→目標: 魅力の向上 【各施設利用者数】 全26事業

【人が集い、回遊したくなる魅力を生む仕組みづくり】

公共交通の利便性向上はもとより、集客施設から人の流れをつくるための方策の検討や、歩ける距離感に目的地が点在すること、歩くことが楽しいまちづくりが必要であり、官民連携も含め、地域内を回遊するための仕組みづくりを進めていく。

→目標: まちなか回遊機能の向上 【歩行者・自転車等通行量】 全38事業

【まちづくりを支える人材の育成及び商業活動の活性化による賑わいづくり】

空き地・空き店舗対策や商業活動の活性化のほか、まちづくりを担う人材の育成や新たな人材を受け入れる環境づくりを進め、魅力の向上、回遊力の向上、賑わいの創出に繋げ、賑わいを実感できるまちを目指していく。

→目標: 賑わいの創出 【空き地・空き店舗解消数】 全21事業

【計画目標と数値】

目 標	目標指標	基準値	推計値	目標値
魅力の向上	各施設利用者数	903,362人/年(R5)	914,279人/年(R12)	1,000,000人/年(R12)
まちなか回遊機能の向上	歩行者・自転車等通行量	5,483人(R6)	4,808人(R12)	7,308人(R12)
賑わいの創出	空き地・空き店舗解消数	20件(R6)	—	23件(R12)

【中心市街地の課題等】

(1) 魅力的な店舗やくつろげる場の不足

地価の下落や商店数の減少のほか、「魅力的な商店」や「若者が長居したくなる空間」を求める声(市民ニーズより)が多い。このため、目的となる場、居心地のよい空間などの形成が必要となる。

※中心市街地に求めるもの

「魅力的な商店 38.1%」「長居したくなる空間の整備・充実 36.0%」

(2) 拠点からの回遊に繋がっていない

拠点となる施設への来場者は増加したものの、そこからの人の流れがなく、歩行者数の増加やまちの賑わいに繋がっていない。このため、歩ける仕組みなど利便性の向上が必要となる。

※歩行者数(区域内: 平日) R1: 1,640人 ⇒ R6: 1,197人

(3) 商業活動の低下、人材の不足

空き地・空き店舗の増加やまちづくりを担う人材の不足など、地域内活動の低下が懸念されている。このため、人材の育成や商業活動の活性化を推進していくことが必要となる。

※空き地・空き店舗率 R1: 31.0% ⇒ R6: 36.8%(5.8%増)

【前期計画目標と数値】

目 標	目標指標	基準値	目標値
都市機能の充実	各施設利用者数	128,756人(R1)	201,700人(R7)
まちなかの回遊機能の向上	歩行者・自転車等通行量	2,125人(R1)	2,300人(R7)
賑わいの創出	空き地・空き店舗解消数	—	25件(R7)